

言語活動を取り入れた単元づくりのポイント

◆ルール3カ条◆

- ・指導事項を、言語活動を通して指導します。
- ・教材を指導するのではなく、教材で指導をします。
- ・児童の実態や指導事項に適した言語活動を取り入れます。

単元づくりのステップ1, 2, 3

ポイント（留意点）

1 前単元までの学習の系統性を調べ、その単元で取り上げる指導事項を確定しましょう。

- ・児童の実態を把握しておきましょう。
- ・教材研究をしておきましょう。
- ・その単元では、何を重点的に指導するのか(指導事項)を教科書等で確かめておきましょう。
- ・年間指導計画を見て、単元配列を確かめておきましょう。

- ・前の単元では何を指導したか。
- ・前の学年での、同系統の教材と指導事項は何か。
- ・児童はこれまでにどんな言語活動を経験しているか。
- ・ここで指導する領域と指導事項は何か。(教科書の教材名の横に書いてあります。)
- ・年間指導計画を見て、単元配列の系統性を把握しておきます。



2 取り入れる言語活動を選びましょう。

- ・「この指導事項を指導するためには、この言語活動がふさわしい」という考え方を忘れないようにします。
- ・言語活動のもつ特性や取り入れる効果についての研究もしておきましょう。

- ・『この言語活動を三次で行うために、二次では会話や行動をしっかりと読み取らせる!』というようなイメージをもっておきましょう。
- ・教材文だけを教材研究するのではなく、言語活動の特性について調べておきましょう。



3 指導計画を立てましょう。

- ・言語活動を取り入れた大まかな構想を立てます。
- ・単元の指導目標を決めます。
- ・単元の評価規準を設定します。
- ・1単位時間ごとの指導計画を立て、授業に臨みましょう!

- ・単元を貫く言語活動を取り入れた指導計画を立てましょう。
- ・単元の指導目標は、指導事項と言語活動を具体化したものにします。